

# 筑後国一の宮 高良大社

参拝案内



国指定重要文化財（本殿・幣殿・拝殿）

## 交通案内

### JRご利用の場合

久大本線「久留米大学前駅」下車→タクシー15分(徒歩は約50分)  
鹿児島本線「久留米駅」→タクシー約30分  
九州新幹線「久留米駅」→タクシー約30分

### 西鉄電車ご利用の場合

西鉄天神大牟田線「久留米駅」下車  
西鉄バス1-1または8番系統「信愛学院行(御井町経由)」乗車  
→「御井町」下車→タクシー約10分(徒歩は約20分)

### 高速バスご利用の場合

高速バス「久留米I.C.」「東合川商工団地前」下車  
タクシー約15分(徒歩は約50分)

### お車をご利用の場合

九州自動車道「久留米I.C.」から約15分  
※詳しくはお尋ねください。



## 筑後国一の宮 高良大社

〒839-0851 福岡県久留米市御井町一番地  
TEL0942-43-4893 FAX0942-43-4936  
<http://www.kourataisya.or.jp/>



- 紙本墨書『平家物語』覚一本 12冊 国指定重要文化財
  - 絹本着色高良大社縁起 2軸 県指定文化財
  - 高良大社所蔵文書 10巻1冊 県指定文化財 他
- ※これらは常時宝物館にて展示しております(年末年始休館)

## 祈願祭のご案内

御神恩に感謝申し上げ、更に心願成就、人生の節目に御神前に参り、皆様のお願いを高良大神様にお取り次ぎ致します。

## 願意

|      |      |      |                       |
|------|------|------|-----------------------|
| 家内安全 | 身体健全 | 初宮詣  | 方災消除                  |
| 商売繁盛 | 病気平癒 | 七五三詣 | 結婚式                   |
| 事業安泰 | 負傷平癒 | 成人奉告 | 年祝                    |
| 厄年   | 心願成就 | 学業成就 | 還暦・古希・喜寿<br>傘寿・米寿・白寿等 |
| 厄除開運 | 必勝   | 試験合格 | 他                     |

※受付は午前9時より午後4時まで  
随時お申し込み、ご祈祷致します。

正月・川渡祭には特別祈祷札を授与し時間の変更がございます。  
※重要文化財の御社殿での結婚式をお受け致します。

予めお申し込みを戴きます。  
※神職が出張しての祭典もお受け致します。〔要予約〕  
地鎮祭 竣工祭 家屋店舗工場の清祓 開店・機械設置等の  
安全祈願祭

※神葬祭 年祭 中元祭 慰霊祭等の霊祭もお受け致します。

ご祖先様がいらっしゃって今の私たちがあります。  
感謝の祈りを捧げましょう。

御祭神

八幡大神  
はちまん おおかみ

高良玉垂命  
こうらたま たれのみこと

住吉大神  
すみやし おおかみ

御神紋



三つ巴



横木爪



五七桐

神使

鳩  
はと

烏  
からす

鶴  
つる

御神徳

主祭神の高良玉垂命は、当社所蔵の『高良玉垂宮神祕書』(高良記)には、異国の兵が九州を攻めた際に、神功皇后が筑紫国四王寺嶺にてお祈りをされると、東方より白雲が現れ四方に開き、月の光と共に出現された神とあり、戦勝を導かれました。

相殿の八幡大神は神功皇后の御子応神天皇の御神霊であり、住吉大神は主祭神と同じく四王寺嶺にて金星の光と共に出現されました。この三座を高良三所大神として古くより筑紫国を始め、人々の生活のあらゆる守護神として、殊に厄除開運・延命長寿・方位除けに靈験著しいと信仰されています。

御鎮座の由来

社伝によりますと仁徳天皇五十五年(西暦三六七)または同七十八年(三九〇)といわれ、履中天皇元年(四〇〇)に御社殿を建てて祀ったとあります。

伝説によれば、その昔高良山は樹木が少なく高良神が上津荒木(久留米市上津町)より松の苗木を植樹され、その後松樹が青々と繁り住まいに相応しい処と高良山へお遷りになられたと伝えます。

※「子の日の松神事」の由縁です。

高良山

久留米市街の東方に仰ぐのが高良山です。標高三一メートル。耳納連山がこれより連なります。別名を「高牟礼山」・「不濡山」と称し、地元の学校の校歌にも名が用いら



主なる祭典

|     |  |
|-----|--|
| 1月  | 神火祭(1日)<br>歳旦祭(1日)<br>初日供祭(2日)<br>元始祭(3日)<br>玉替祭(成人の日)<br>鏡開祭(21日) |
| 2月  | 紀元祭(11日)<br>子の日の松神事(上旬の日曜日)<br>祈年祭(17日)<br>天長祭(23日)                |
| 4月  | 昭和祭(29日)   |
| 6月  | 川渡祭(へこかき祭)(1・2日)<br>夏越大祓式(30日)                                     |
| 8月  | 献灯祭(1日)  |
| 10月 | 例祭(高良山くんち)(9~11日)<br>崇敬会大祭(10日)<br>観月祭(11日)                        |
| 11月 | 明治祭(3日)<br>七五三祭(15日)<br>新嘗祭(23日)                                   |
| 12月 | 鎮火祭(1日)<br>煤払神事(22日)<br>年越大祓式・除夜祭(31日)                             |

毎月の祭典

- 1日・15日 日本社月次祭
- 4日 愛宕神社月次祭
- 6日 大學稲荷神社月次祭
- 10日 琴平神社月次祭
- 13日 高良御子神社月次祭
- 初寅日 奥宮初寅祭

この他、摂末社の大祭があります。各祭典の御参拝をお待ち申し上げます。

御事歴

れ親しまれるお山です。宗教・文化の中心として、軍事・交通の要所として役割をはたしてまいりました。景行天皇 神功皇后・懐良親王・豊臣秀吉等国づくりの歴史の舞台でもあります。

当社は、古くは「玉垂宮」「高良玉垂宮」「高良玉垂命神社」等と称し延喜式内明神大社、神階は正一位にて皇室の御尊崇篤く鎌倉時代まで御社殿の御造営は勅裁により行われ、筑後国一の宮・九州総社・鎮西十一ヶ国の宗廟と称えられてまいりました。文永・弘安の蒙古襲来には勅使参向され、蒙古調伏の折には「天下の天下たるは、高良の高良たるが故なり」と綸旨を賜ったと伝えられています。大祭には太宰府より勅使参向し九州九ヶ国の国司・郡司が参集、南北朝

時代には小式・菊池・大友・島津の武将が輪番にて奉仕しました。神幸祭は神護景雲元年(七七七)に始まり中世には供奉者一千余人という大きな祭典でした。戦国の争乱により荒廃するも、江戸時代には久留米藩主の崇敬を受けて、第二代藩主有馬忠頼公は大鳥居、三代藩主頼利公は御社殿(現在、国指定重要文化財)、七代藩主頼愷公は中門・透塀等を各々造営寄進しました。江戸時代中期寛政四年より五十年に一度の御神期祭が再興され盛大に執り行われるようになり、近代になると明治四年国幣中社、大正四年国幣大社に列格、昭和五十一年に社殿解体修理工事が完了し、平成三十年には、平成の大修理事業による御社殿屋根の葺替え、斎館授与所の建替え等を完工し、さらなる御神威発揚、ふるさとの宝の継承に務めております。

# 国指定史跡 高良山のごあんない



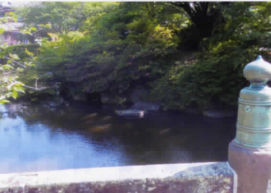
## 1.一の鳥居 (重要文化財)

明暦元年(1655)久留米二代藩主有馬忠頼公が寄進の石造大鳥居です。石材は領内の十五才から六十才までの男子延十万人が運んだということです。



## 2.御手洗池

古くから神さまが手水を使われたと伝えられ「御手洗」の名が起りました。池の中島には厳島神社が祀られています。



## 3.祇園山古墳 (県指定史跡)

東西約25m、南北24m、高さ約6mの方墳です。二段の葺石を有し、墳丘の周囲には六十基以上の石蓋土壙等の棺が発見され九州でも最も古い方墳です。

## 4.二の鳥居

参道と自動車道が分岐する所に建てられた鳥居で、昭和44年9月に江崎 柁氏を始め多数の方々の方々の寄進によるものです。これより山内は清浄さが最も大切にされます。



## 5.自動車道

昭和8年より36年にかけて完成された参拝車道で、今は耳納スカイラインに通じております。

## 6.礫山古墳

古墳時代前期の古墳。この古墳の石棺は、岩盤に四基分棺を掘り込んだ特殊なもので、内部には朱が塗られていました。

## 7.桃青霊神社

俳聖、松尾芭蕉を祀ります。隣接して宮地嶽神社があります。芭蕉を神としてまつたのは全国でも、ここが最初といわれています。

## 8.愛宕神社

愛宕神社は、京都府愛宕山の神で、火伏せ、火難除けの神として広く信仰されておりますが、特に牛馬の守護神としても篤い信仰を集めております。寛文11年(1671)に現在地に鎮座されました。



## 9.岩不動 (三尊磨崖種子) (市指定文化財)

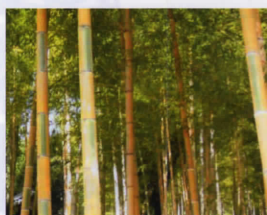
愛宕神社の鳥居をくぐり左に折れた所、南側の一枚岩に仏を表わす種子が刻まれています。中央が地藏菩薩、左右は不動・毘沙門の三尊です。

## 10.大学稲荷神社

筑前・筑後稲荷十社の筆頭といわれ、明和8年(1771)伏見から勧請されました。稲荷神社は、もともと穀物の神でしたが、その後、商売繁昌の神としても御利益いちじると、庶民に親しまれています。

## 11.孟宗金明竹 (国指定天然記念物)

金明竹(緑と淡い黄色が竹の節間に交互に現われた竹)は、全国にあります。孟宗竹は、ここを含めて四ヶ所だけです。



## 12.三の鳥居 本坂

131段の急な石段です。古くは、この石段より南にある下向坂が本参道であったかと思われすが、現

在は、この石段が正面です。わきに修復工事寄進者名の入った石碑があります。

## 13.高良山展望台

高良大社石段下の駐車場や高良会館6階展望台からの筑紫平野の眺望はすばらしく、終日にぎわいます。



## 14.高良会館

昭和40年、崇敬者・参拝者の増加にともない休憩所・婚儀殿等の多目的利用をめざして建設されました。山内では、この6階建の建物が一際大きく見えます。

## 15.中門・透塀

七代藩主有馬頼暲が安永6年(1777)に寄進しました。橙の色が本殿背後の樹々の緑によく映えます。

## 16.本殿・幣殿・拜殿 (重要文化財)

万治2年(1659)から同4年にかけて、久留米藩主有馬頼公の寄進によ

り造営され、柿葺、権現造の社殿は、江戸時代初期の特色をよくとどめています。なお、拝殿・幣殿の格天井は狩野白信が宝暦5年(1755)に描いたものです。

## 17.神籠石 (国指定史跡)

御本殿の背後から山裾まで約1500mにわたって、1300個の巨石が神域を取り囲むように列っています。このような列石は、福岡・佐賀・山口県で八ヶ所確認されており、古代の山城跡とも、神域の標示とも言われ、わが国古代遺跡中最も壮大なものです。



## 18.大樟 (県指定天然記念物)

元来は二本であったものが地際で融合。根廻り30.5m、高さ23.5m、樹齢数百年と推定。

## 19.下向坂石段

麓から参道に登ってきますと、この石段下に出ます。右手に宝塔院跡があります。

## 20.歴代座主墓地 (御井寺所有)

高良山歴代座主が眠る墓地で初代隆慶上人から五十八世亮純までの墓や供養塔などがあります。

## 21.旧宮司邸・蓮台院御井寺跡

高良山は神の山であるとともに仏の山でもありました。神仏分離により明治2年、寺院は高良山からなくなりしました。それ以前の高良山仏教の中心がここでした。



## 22.伊勢御祖神社

当国鎮座延喜式内四座の内的一座であり、古くは現御井小学校「伊勢の井」付近に在りましたが、江戸時代この地に移転しました。

## 23.馬蹄石

高良の神が御鎮座をはじめ、神馬の蹄の跡を残されたといえられる石で、古くはこの石が「神籠石」と呼ばれていました。



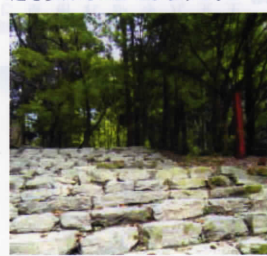
## 24.昭和大会主基地方風俗歌碑

## 25.琴平神社・吉見嶽城跡

吉見嶽は桜の名所として知られています。中世の山城で、大友宗麟・豊臣秀吉も陣を張りました。今日、本丸跡には琴平神社がまつられ、永世和平碑があります。

## 26.参道

片道徒歩約20分を要します。高良神鎮座以来、幾千万の人が、この参道を歩んだことでしょう。



## 27.奥宮

「奥の院」とも呼ばれる、霊水が湧く聖地で、高良大社の奥宮です。諸願成就の神として人々の信仰をわめて篤く、現在も「寅」の日には多数の参拝があります。



詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.kourataisya.or.jp/>